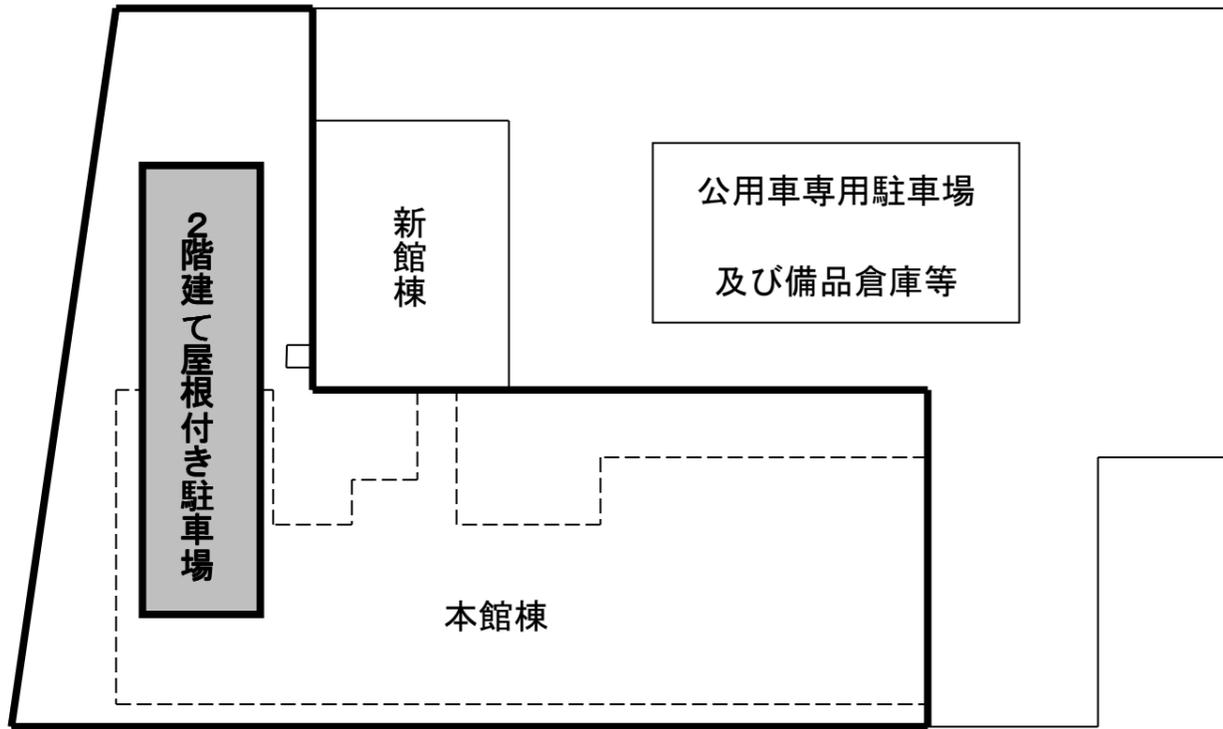
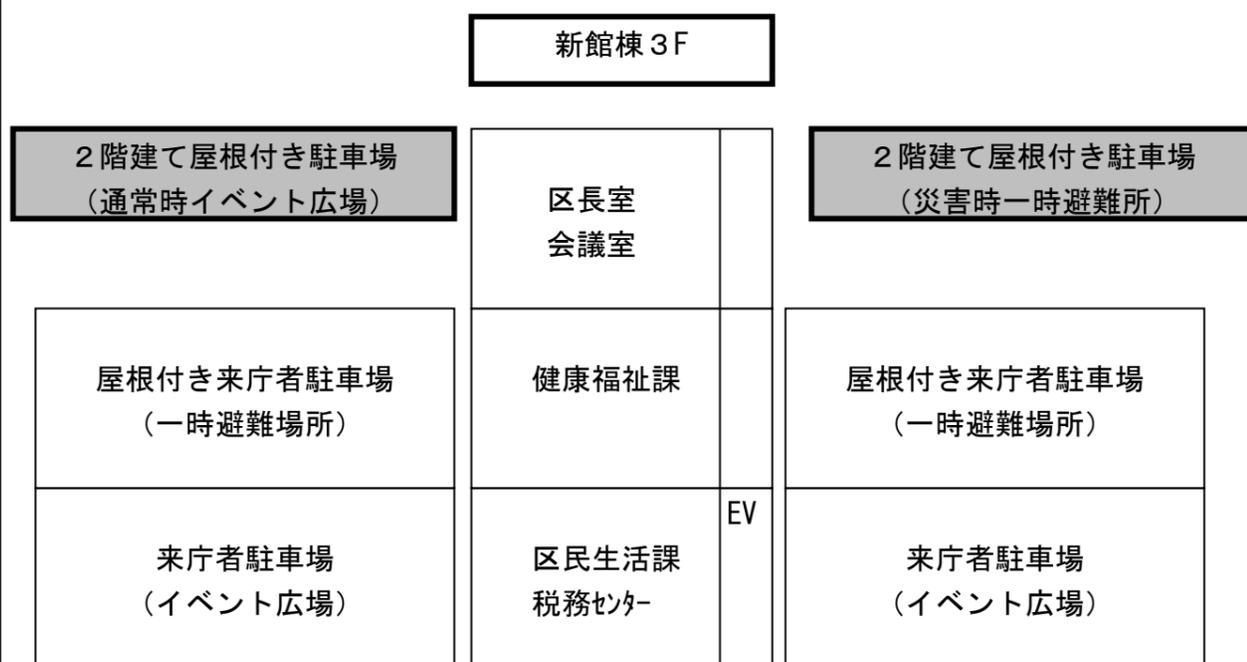


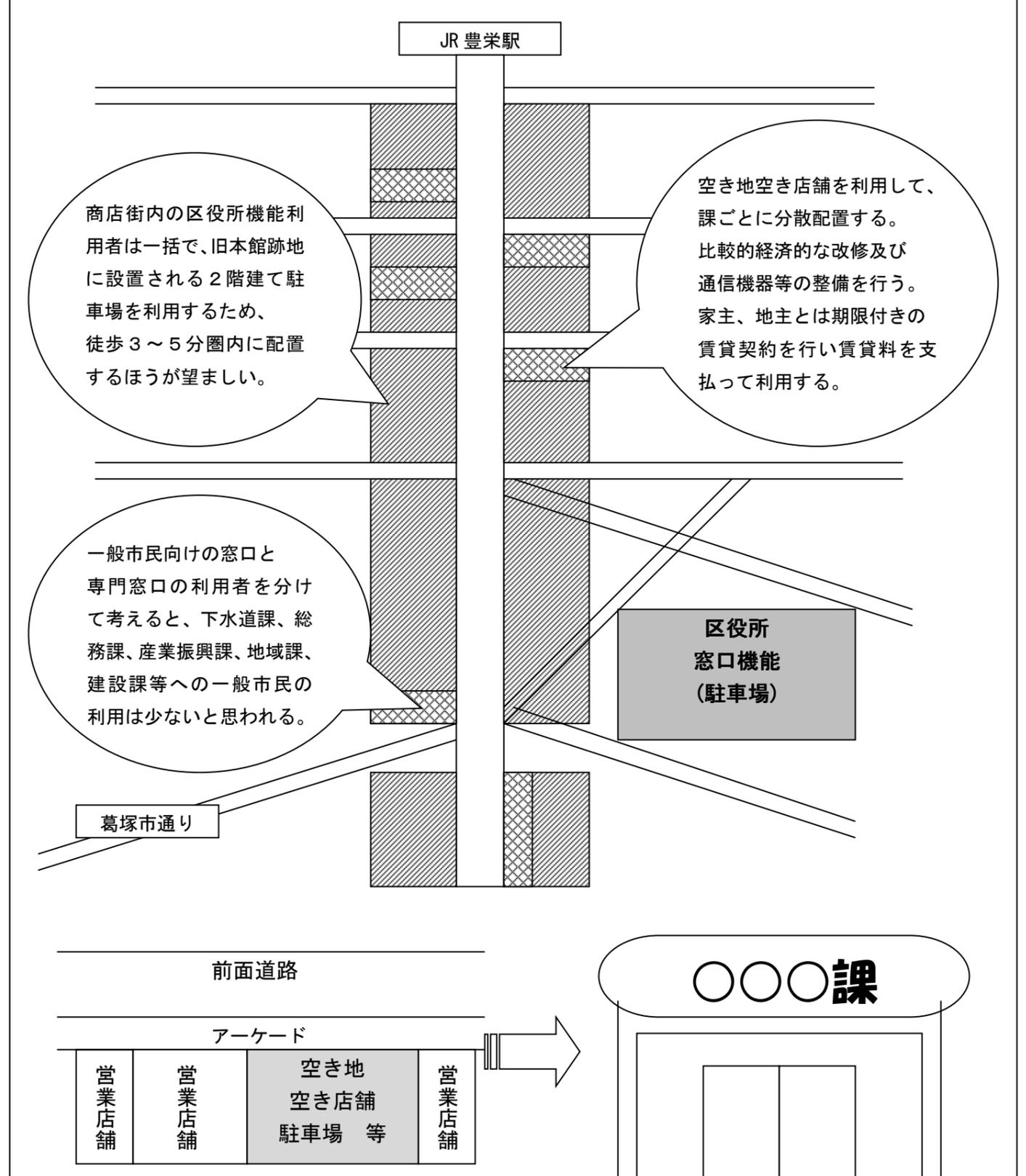
本館跡地利用イメージ（平面図）



本館跡地利用イメージ（立面図）



区役所機能を商店街区域内の空き地・空き店舗等に分散配置した例



<葛塚地区の現状>

強み	①跡地の周辺には、商店街・市・祭りがあり、住民のための日常生活機能・にぎわいがある ②さらに周辺には、住宅街・アパートがあり、その地域で多くの人が生活をしている ③葛塚・豊栄周辺には、すでに様々な既存施設(図書館・公民館・文化会館)がある ④北区役所が現在地にあったため、現在の葛塚のにぎわいをつくった歴史がある
弱み	①商店街を利用する人などの路上駐車が目立ち、危ないと思われる ②商店街には空き家・店舗や跡継ぎ問題がある ③商店街を営む人や地域住民の高齢化・減少が進んでいる ④現在の役所では狭いと感じている職員が多い
社会的要因	①水害の危険性があるのに、防災機能が近くにない ②地域に若い世代の定住を促進したりする必要がある ③医療の機能が手薄である



このまま何もせず、区役所と言う業務機能が郊外の広い敷地に移転してしまうと、既存の商店街を営む人達や地域住民の高齢化・人口減少が加速してしまい、街の中心部の活気が無くなり、商店街の維持が困難になる恐れがある。

また、高度成長期の郊外への市街地拡大傾向は歯止めがかかり、逆に中心部回帰の傾向が進んでいる。既存の整備済みの社会基盤を有効に利用したコンパクトシティという考え方が主流になりつつある。
 <参考事例> 長岡市(アオーレ長岡)、新潟市(古町地区への市役所機能回帰志向)、新発田市(中心部から中心部への市役所の移築)、※燕市(中心市街地から等距離の郊外へ移転新築の評判?)



目指すは、コンパクトで行政と民間が一体化した新しい中心市街地の在り方に挑戦する!
 新しい「区役所商店街」を作ろう!

<素案1の目的>
 ○住民がよく利用する「窓口機能」は賑わい維持のためには有効なのでぜひとも残したい。
 ○葛塚市を始めたとする中心部には、商業業務ゾーンとして集中したい。

<素案1を検討するための方針>
 中心部の賑わいを無くさないために、行政の窓口機能を有効に利用し、将来の世代のために、お金を掛けず「知恵」を働かせよう!

<素案1の具体的な計画及び手法>

新館棟	・一般市民向け「窓口業務機能」に絞って利用する区民生活課、健康福祉課、税務センター、区長室 等 ・会議室を設置し、区内の種々の会議を開催する。 ・ITの活用により周辺に配置された各課との連絡調整システム
本館跡地	・2階建て屋根付き駐車場の建設を行う。 ・周辺部も含めた来庁者用駐車場を確保する。 ・公用車専用駐車場も設置し、現在の不便さを無くす。 ・備品倉庫等のスペースも確保する。 ・1F屋根付き駐車場はイベントスペースとして利用できる。
商店街	・空き地空き店舗を利用して、課ごとに分散配置する。 ・空き店舗等の改修を実施して、課ごとの必要スペースを確保 ・家主、地主との定期的な賃貸契約を取り交わす。 ・当然賃貸料が支払われ、活用していない資産が活用できる。 ・駐車場と各課との往来が生まれ、賑わいに寄与する。 ・地域社会のための商店街の役割を再考するきっかけとなる。



今まで真剣に取り組んでこなかった商店街が、区役所の「移転新築」という危機感を受け止め、新たに中心市街地での役割を果たす!